

リーグ戦各部の編成の将来ビジョン計画の策定について

2022 年度リーグ戦における課題（情報共有）

リーグ編成

一部 10 校 ・ 二部 12 校 ・ 三部 12 校 ・ 四部 12 校 ・ 五部 3 校

2022 年度リーグ戦の課題としては、入替戦をどのように行うか。2023 年度の編成をどうするか。

リーグ編成数を 2020 年度に戻すのであれば、

一部 ⇄ 二部

一部 9 位・10 位を自動降格とし、

一部 7 位と二部 2 位、一部 8 位と二部 12 位の入替戦

二部 ⇄ 三部

二部 11 位・12 位を自動降格とし、

二部 9 位と三部 2 位、二部 10 位と三部 1 位の入替戦

※三部⇄四部も同様

現段階で編成を変更する原案

2022 年度は一部のみ 10 校によるリーグ戦。2023 年度は、8 校でのリーグ戦。二部は 12 校のリーグ戦。三部、四部も 12 校によるリーグ戦。＜元に戻す案＞

案 1

一部校を 10 校とし、入替戦を行う。自動降格をどうするか、入替戦方式の検討が必要。二部、三部、四部も同様の入替戦。編成は 12 校。ただし入替戦は 1 試合で決着。

案 2

一部校を 10 校、二部校を 16 校とする。

案 3

一部校を 12 校、二部校を 16 校とする。

決定までのプロセス・手順

入替戦の方法を決めるにあたっては、将来の部の編成に関して、将来ビジョンの提示を競技部から要請されている。2月開催予定の常任理事会で原案を検討することとしたい。

競技部会での審議を経て、3月開催予定の理事会で審議し、決定したい。

例えば、一部校を増やす計画や二部校を増やす計画などを示すことが重要である。

競技部に委ねるのではなく、常任理事会において審議し、計画（案）に基づいて、競技部での審議を要請することとしたい。

常任理事会での十分な議論ののちに将来ビジョンは決定すべきと捉えています。

将来ビジョンは常任理事会で審議し、競技部会、強化部会での審議も経て、理事会で最終決定したい意向です。

理事会において、意見を交換し、結論を3月までには決定することが必要である。

（最終リミットは4月開催予定の理事会）

どのようにすれば関西女子学連のチーム強化につながり、関東に立ち向かうことができるか。各大学の利害よりも、連盟としてのあるべき姿、方向性を見い出したいと考えます。

2022年1月22日は、課題を共有し、今後のリーグ戦の編成について検討していくこととしたい。

コロナ禍にあり、不透明なこともありますが、前向きに捉えたいと考えます。